

平成18年度 施策評価表

所属 21100000

都市整備部 街づ調整課

施策	1135 駐車・駐輪場							
区分								
対象	区内の道路上に違法駐車する車両の運転者及び放置自転車整理区域内への自転車放置者							
施策意図	違法な駐車・駐輪が少なくなっている							
現状と課題	一日平均の区内違法駐車台数は、減少傾向で推移している。自転車の1日平均の瞬間的放置率は、平成17年度、18.69%と減少の傾向にある。しかし、駅周辺への自転車の乗入れ台数は増加傾向にある。違法駐車・駐輪対策には、駐車駐輪施設の確保はもとより、指導誘導や規制の強化とともに公共交通機関への利用呼びかけ等が重要と考える。							
成果指標	[成果指標1]一日平均の瞬間的自転車放置率(一日のある時間での放置自転車整理区域内の放置自転車台数÷区域内乗入れ自転車台数) [成果指標2]一日平均の区内違法駐車台数							
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度				
		実績	18.70	18.70				
	成果指標2 [台]	予定	500.00	600.00				
		実績	401.00					
	成果指標3 []	予定						
		実績						
	トータルコスト (千円)	予定		796,167				
		実績	641,111					
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。安全かつ快適な歩行や自動車・自転車利用ができるよう道路を整備し、又、その適正な利用を促すのは区の責務であり、区の関与がなければ実施できない。					
		区民ニーズへの貢献	大きい。違法な駐車や駐輪の少ない安全で快適な街にすることは、自動車や自転車の利用者を含めた、道路を一般交通の用に供する者全体に強く求められている。					
成果向上の必要性		現状維持。今後も高まるであろう自動車や自転車利用の需要に即応した体制や施設の整備を、街づくり事業と連携するなどし、一定水準以上に保つことが要請されている。						
成果向上の容易性		容易ではない。違法な駐車や駐輪の少ない街にすることは施設整備等ハード面を含め、多額の費用を要することから、長期的な視野に立ち、計画的に着実に実施する必要がある。						
位置付け総合評価	継続。違法駐車・駐輪対策にあたっては、ハード面である財政的負担の大きい駐車駐輪施設の整備だけでなく、自動車や自転車利用者のマナー向上などの、ソフト面の充実も重要である。そのためには職員の創意工夫とともに住民やボランティア団体の協力が不可欠であり、ハード及びソフト面を含め、長期的、計画的、かつ総合的に施策を推進する必要がある。 なお、とりわけ財政的負担の大きい自転車駐車場整備にあたっては、鉄道の利用者であることも考慮し、鉄道事業者の協力・負担を求めていく。							
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価	
	113501	違法駐車防止巡回指導及び誘導委託				3,512	5	
	113502	駐車場管理運営				226,397	5	
	113503	新小岩東北自転車駐車場整備事業				40,642	5	
	113504	自転車駐車場				157,278	5	
	113505	自転車置場管理運営				2,104	5	
	113506	放置自転車追放キャラバン				9,390	5	
	113507	自転車保管所管理運営				62,000	5	
	113508	放置自転車撤去・誘導及び指導				139,788	5	

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21100000

施 策 1135

都市整備部 街づ調整課

駐車・駐輪場

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		68,325		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		403,681		
		一般財源	(5)		89,118		
	直接費	事業費	(6)		499,561		
	職員人件費	人件費	(7)		59,106		
		再雇用職員分	(8)		2,295		
		(職員数：賦課)	(9)		7.38		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		7.38		
	調整額	間接費	(12)		162		
		(加算)減価償却費	(13)		125,991		
		(加算)金利	(14)		103,310		
		(加算)退職給与引当	(15)		5,742		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			235,043		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			796,167		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	11,810			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	392,292			
		一般財源	(24)	-6,700			
	直接費	事業費	(25)	345,244			
	職員人件費	人件費	(26)	46,978			
		再雇用職員分	(27)	5,180			
		(職員数：賦課)	(28)	5.66			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	5.66			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	126,454			
		(加算)金利	(33)	112,161			
		(加算)退職給与引当	(34)	5,094			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)		243,709			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)		641,111			

施策名	駐車・駐輪場
-----	--------

担当課： 街づくり調整課

施策の達成状況

【達成度評価】
成果指標上、違法な駐車・駐輪は減少している。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大	駐車場管理運営	自転車駐車場	
	中	放置自転車撤去・誘導及び指導 違法駐車防止巡回指導及び誘導 自転車置場管理運営	新小岩東北自転車駐車場整備	
	小	自転車保管所管理運営 放置自転車追放キャラバン		
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上	新小岩東北自転車駐車場整備	自転車駐車場	
	維持	駐車場管理運営	放置自転車追放キャラバン 違法駐車防止巡回指導及び誘導委託 放置自転車撤去・誘導及び指導 自転車置場管理運営 自転車保管所管理運営	
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
違法駐車や駐輪は基本的にマナーの問題であるので、今後、指導・誘導などのソフト面の充実を図っていきたいと考える。なお、新小岩東北自転車駐車場整備事業は、平成19年度工事の予定で事業コストの工事費分の増が見込まれる。また、自転車置場管理運営については、利用者の理解を得やすくするため、自転車駐車場の新設や拡充の機会を捕らえて、廃止・休止を含めて縮小していく。